

しんきん 地域力連携 拠点メールマガジン

☆☆☆☆農商工連携・地域資源活用セミナーと異業種交流会☆☆☆☆



プロモーションビデオ
「ミッションオブアルパ
ジョン」より

4/28 セミナー・八戸会場 セミナー・プログラム

- ・「朝の八甲田」で大ブレークのアルパジョン松坂社長の講演
- ・応援コーディネーター 横内社長の研修
- ・人材育成専門家 米田大吉氏の説明
- ・中小企業診断士 米田吉宏氏の説明
- ・八信営業統括部 松本副部長の説明

企業相談会

津軽ぶどう村 須郷社長の 懇親会でのお話

「12月時点で赤字になると思った。そこで、今までお世話になった全国のすべての方に「ぶどうジュース」の購入をお願いした。なりふり構わずお願いした。世の中、捨てたものじゃない。3月決算で黒字になった。ありがたい。」

編集室からの独り言

「青森の材料」を「青森人」が「青森の地」でつくる。 青森の伝道師 アルパジョンオーナーシェフ松坂和治氏語る。

講演会の第一声は「青森を元気にする」でした。そして、青森県人による青森の洋菓子をつくる。しかし、課題は自分自身に足りないものをどうするか。一つには、世阿弥の「秘すれば花」(朝の八甲田のパッケージデザイナーから贈られた言葉)に学び、もう一つには、青森人にどう支えてもらうかということです。

自分のことは自分で良く見えない。プロモーションビデオで、映像、言葉そして音楽が一体となったとき、ストーリーが生まれる。一人ひとりにドラマがあり、多くの人たちで成り立っていることがわかった。

「青森、を感じさせるお菓子をつくりたい。伝道師松坂社長が何回も口にした言葉。

それは、「AOMORI JAPAN」です。

☆☆会場で配付された「しおり」から☆☆

北のころ ——— 青森より

「春、柔らかな日射しに雪が解け、「夏、緑しみいる溪流に遊び、「秋、紅葉の樹林を楽しみ、「冬、又自然の厳しさへと返る。私は広大なる青森の自然を、誇りに思っております。はっきりと違う四季だからこそ季節を大切に、「ありがとう」の感謝と、喜びがより深いと思うのです。この「青森人の心」を菓子職人として、又青森人の一人として、私は一人でも多くの人に語ってゆきたいと思います。

青森人で良かった、青森万歳。

オーナーシェフ 松坂 和治

お知らせ、連絡事項など

○八戸工業大学から産学官連携担当の齋藤先生にもご出席いただきました。横内応援コーディネーターが工業系の企業にも参加してもらい、異業種交流を深め、農商工連携・地域資源活用の案件として連携できればいいなあ、と書いていました。

○米田専門家から「採用時の助成金等が多岐にわたり手厚く予算化されたので、採用の前に相談下されば、アドバイスできる」と説明していました。米田大吉さんは商品開発、販路開拓、人材育成の専門家で、上場企業で活躍していました

が、カーリングをやりたいばかりにUターンしました。お馴染の頼りになる人です。

○中小企業診断士の米田吉宏さんは、青森県が作成した「戦略的経営展開マニュアル」をディメールの間さんの体験談をはさみ、とても分かりやすく説明しました。また、相談会ご苦労様でした。

○はちしんの松本副部長は、11月11日開催の仙台での展示会に50社くらい参加して欲しいと熱意をもって説明した。今回は物販できるからです。5月から企業PRマッチング冊子の作成に着手します。

○研修会・展示会后、メルマガ発刊！お楽しみに。



小野県協会会長はニコニコ顔で「支店長はお客様が何をして欲しいのか、しっかり感じないとだめだ！」と言ってました。事務局も神妙に聞きました。